

# 戦争と平和

宗教者は語る



ロシアのウクライナ侵略有ついてまず考えたことは、21世紀になって、国際法を踏みにじりて軍事力で侵略している。さらに、それを止められない社会。戦争被爆国として絶対に許せないような経済制裁がかかる。しかし、相手を屈服させようとする。手段を選ばない姿勢で侵略していく。そのことに対する怒りを含みながら、そして、悲憤な」を起して、**「抑止力」**は危険

ロシアのウクライナ侵略を利用して、ロシアと国境を接している日本はどうすればいいんだと書いて、軍備の増強が正当化されてしまいます。今はヘルメット、防弾チョッキ世界を

しまった人間の罪と自身の罪を問わざるを得ないとthoughtします。

## 日本基督教団 総会議長 石橋秀雄さん



いしばし・ひでお 1944年、旧「満州」(中国東北部)に生まれる。東京神学大学大学院修士課程修了。現在、日本基督教団総会議長、越谷教会牧師。

## 9条大切 平和担う人に

平和をつくる人になら  
りたいね」と話しまし  
た。

シキなどを送つてこま  
す。これもかなり危  
険なことです。今度  
は、ローンを支援する  
な「軍事産業」みたいな

なものが出来上がつてしまつて危険を感じます。

審査の結果の報告で  
自衛隊員が海外でだ  
れも殺されていない。  
殺してもらおう。だが

「神の子」として  
私がかかわっている  
幼稚園で、年長の園児